

広島県感染症発生動向週報

[広島県感染症予防研究調査会]

平成30年第45週(11月5日～11月11日)【速報】

1 五類定点疾患週報情報

No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1	発生記号	No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1	発生記号
1	インフルエンザ ※2	35	0.30	0.31	↑	10	ヘルパンギーナ	6	0.08	0.10	↓
2	RSウイルス感染症	44	0.61	1.40	→	11	流行性耳下腺炎	5	0.07	0.62	↓
3	咽頭結膜熱	27	0.38	0.40	↑	12	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	155	2.15	1.79	↑	13	流行性角結膜炎	12	0.63	1.08	→
5	感染性胃腸炎	434	6.03	8.38	↑	14	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.02	
6	水痘	29	0.40	0.64	↑	15	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.06	
7	手足口病	38	0.53	0.78	↓	16	マイコプラズマ肺炎	3	0.14	0.23	
8	伝染性紅斑	5	0.07	0.20		17	クラミジア肺炎 ※3	0	0.00	0.01	
9	突発性発しん	28	0.39	0.45	↑	18	感染性胃腸炎(ロタウイルス) ※4	0	0.00	-	

※1 過去5年間の同時期平均(定点当り)
 ※2 鳥インフルエンザを除く。 ※3 オウム病を除く。
 ※4 感染性胃腸炎(ロタウイルス)は、平成25年第42週から報告が始まりました。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	基幹定点
疾患No.	1	1～11	12,13	14～18
定点数	43	72	19	21

発生記号(前週と比較)

急増減	↑	↓	1 : 2 以上の増減
増減	↑	↓	1 : 1.5 ~ 2 の増減
微増減	↑	↓	1 : 1.1 ~ 1.5 の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

現在、警報・注意報を発令している疾患はありません。

【急増減疾患(前週比2倍以上増減)】

- 急増疾患 なし
- 急減疾患 ヘルパンギーナ (13件 → 6件)
流行性耳下腺炎 (11件 → 5件)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	8	結核	8					7	1	
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1					1		
四類	4	つつが虫病	1					1		
		デング熱	1							1
		レジオネラ症	2					1		1
五類全数	9	ウイルス性肝炎(E型・A型除く)	2					2		
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3				1	1	1	
		梅毒	1							1
		百日咳	3					1	1	1

注) 西部 … 大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
 西部東 … 竹原市、東広島市、大崎上島町
 東部 … 三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
 北部 … 三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>